

2020年12月11日

コロナワクチンの治験開始

ベトナム国内では現在、ワクチン生物製剤研究製造センター(保健省傘下の POLYVAC)、第1 ワクチン生薬製造会社(同 VABIOTECH)、ワクチン医学生物学研究所(同 IVAC)、ナノゲ



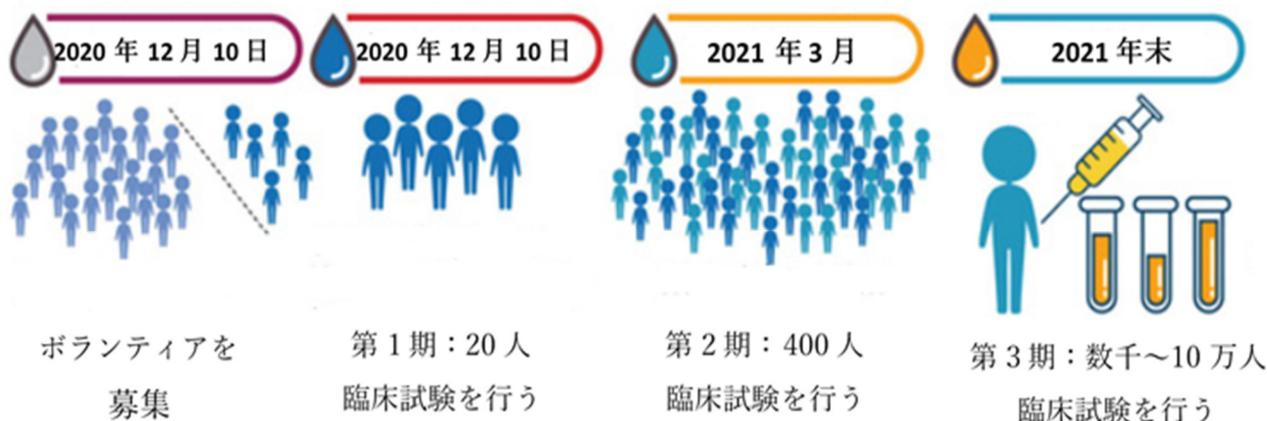
新型コロナウイルスワクチンの研究および製造 (ナノゲン社)

ン社(Nanogen)の4つの団体が、政府の定める厳格な基準に従って新型コロナウイルスのワクチン開発を進めています。その内、ナノゲン社が臨床段階に進み、12月10日からワクチンの第1相臨床試験を実施しています。

臨床試験を管轄するのは、国防省傘下の軍医学院です。ナノゲン社のワクチンの臨床試験スケジュールは以下通りです。第1相試験ではボランティア20人を対象とした小規模な臨床試験を行い、第2相試験は、3か月後に400人を対象に実施する予定です。臨床試験の対象は8～40歳の年齢層からボランティアを募り、スクリーニング検査で慢性疾患や感染症の有無などの健康状態を確認します。

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社(CAM)が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAMが運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～



上記のワクチンの治験が順調に進めば、その後、このベトナム国産の新型コロナウイルスワクチンを量産し、一般国民への接種を開始する見込みです。その正確なタイミングはまだ発表されていませんが、価格に関しては、ナノゲン社の場合、1回の接種分で5ドル、2回接種の場合は10ドルの費用を想定しています。

ワクチンを製造する団体がその製品を登録しライセンスが供与される際、保険大臣はその条件を緩和し柔軟に対応する旨を明らかにしています。また、ワクチンを製造する団体の経営状況について、政府は、首相とも協議した上で、各団体によるワクチンの研究・生産を促進するためその資金調達をサポートする方針です。

【写真提供：JVRC】 <http://www.capital-am.co.jp>

以上